

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三菱重工業株式会社（証券コード:7011）

【変更】

長期発行体格付	AA-	→	AA
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	AA-	→	AA
発行登録債予備格付	AA-	→	AA

【据置】

国内CP格付	J-1+
--------	------

■格付事由

- (1) 国内最大手の総合重機メーカー。エネルギー、プラント・インフラ、物流・冷熱・ドライブシステム、航空・防衛・宇宙の各セグメントに展開。産業・社会インフラ領域を中心に極めて広範な事業を展開しており、収益源が分散されている。防衛関連や発電システムなど、国の安全保障に関与する製品も少なくない。コア事業の一つであるガスタービンコンバインドサイクル（GTCC）を筆頭に、世界的なポジションにある分野を複数有するなど、事業基盤は強固である。
- (2) 収益力が向上している。伸長事業に位置付ける GTCC、原子力関連、防衛関連の受注が堅調である。世界的に脱炭素化の潮流が続く中、石炭火力発電に比べて二酸化炭素排出量が少なく高効率なガス火力発電向け GTCC の需要は強い。また、原子力関連も国内軽水炉の再稼働や特定重大事故等対処施設設置に向けた対応などにより引き続き一定の事業規模が維持される見通しである。さらに防衛関連の受注も日本の防衛予算の拡充を受けて従前に比べて高い水準が続いている。一方、財務面では、親会社の所有者に帰属する持分（資本）の増加や有利子負債の削減により財務基盤が強化されている。以上より、長期発行体格付を1ノッチ引き上げ、見通しを安定的とした。
- (3) 25/3 期事業利益（IFRS）は3,831 億円（前期比 35.6%増）と5 期連続の増益となった。エネルギー、防衛・宇宙を中心とした売上増加や採算改善などにより増益となった。26/3 期の事業利益は会社計画で 4,200 億円と公表されている。全セグメントで増益を計画しており好業績が続く見通しである。25/3 期末の受注残高は10 兆円を超えており、特に過年度の受注が好調だったエネルギーや航空・防衛・宇宙は、26/3 期も売上・利益が大きく伸長する計画である。米国関税政策の動向には一定の留意が必要だが、直接的な影響は大きくないとみられる。
- (4) 25/3 期末の親会社所有者帰属持分比率は35.2%（24/3 期末は35.9%）、デットエクイティレシオ（有利子負債にリース負債を含めない）は0.26 倍（同0.31 倍）となった。利益蓄積などで資本が増加したほか、契約負債（前受金）の増加などでフリーキャッシュフローが大幅なプラスとなり有利子負債の削減が進んだ。親会社所有者帰属持分比率は若干悪化したが、現預金の厚みが増して総資産が増加したことが要因の一つであり実質的に財務基盤は強化されている。26/3 期末は有利子負債が増加する計画だが、利益蓄積による資本の拡充などにより現状程度の財務構成を維持できると考えられる。

（担当）関口 博昭・山口 孝彦

■格付対象

発行体：三菱重工業株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 31 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2015 年 9 月 2 日	2025 年 9 月 2 日	0.630%	AA
第 33 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2016 年 8 月 31 日	2026 年 8 月 31 日	0.240%	AA
第 35 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2017 年 8 月 29 日	2027 年 8 月 27 日	0.330%	AA
第 36 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（三菱重工グリーンボンド）	250 億円	2020 年 11 月 24 日	2025 年 11 月 21 日	0.140%	AA
第 37 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400 億円	2020 年 11 月 24 日	2030 年 11 月 22 日	0.390%	AA
第 38 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（第 2 回三菱重工グリーンボンド）	150 億円	2021 年 9 月 1 日	2026 年 9 月 1 日	0.090%	AA
第 39 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400 億円	2021 年 9 月 1 日	2031 年 9 月 1 日	0.270%	AA
第 40 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（第 1 回三菱重工トランジションボンド）	100 億円	2022 年 9 月 8 日	2027 年 9 月 8 日	0.310%	AA
第 41 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2022 年 9 月 8 日	2032 年 9 月 8 日	0.629%	AA
第 42 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（第 2 回三菱重工トランジションボンド）	100 億円	2023 年 8 月 31 日	2028 年 8 月 31 日	0.459%	AA
第 43 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2023 年 8 月 31 日	2033 年 8 月 31 日	0.962%	AA
第 44 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（第 3 回三菱重工トランジションボンド）	100 億円	2024 年 9 月 5 日	2029 年 9 月 5 日	0.700%	AA
第 45 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	200 億円	2024 年 9 月 5 日	2034 年 9 月 5 日	1.302%	AA

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,000 億円	2024 年 10 月 29 日から 2 年間	AA

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	7,000 億円	J-1+

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2025 年 6 月 24 日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：水川 雅義
主任格付アナリスト：関口 博昭
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024 年 10 月 1 日)、「総合重機」(2024 年 10 月 4 日) として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 三菱重工業株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等することは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル